



中学校新学習指導要領全面実施に向けて

所長 宮里 寧

暦の上では、節分や立春が春の訪れを告げる2月ですが、寒い日が続いています。新型コロナウイルス感染症に対策に向けた適切な対応に努めていただくとともに、皆様の指導要領が全面実施されます。実施目前に、改めてその趣旨を確認してみませんか。

一、「社会に開かれた教育課程」の実現が求められた

よりよい学校教育を通して、これからの時代に求められる教育を推進していくためには、各学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程で明確化し、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという「社会に開かれた教育課程」の実現が重要となります。

二、「主体的・対話的で深い学び」を通して生きる力を育む

これからの学校教育には、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開し、すべての教科等で「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の育成を図り、児童生徒一人一人に生きる力を確実に育むことが求められています。

三、「カリキュラム・マネジメント」の確立がますます重要に

総則の「学校運営上の留意事項」の中で次のように示されています。「各学校においては、校長の方針の下に、校務分掌に基づき教職員が適切に役割を分担しつつ、相互に連携しながら、各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントを行うよう努めるものとする。また、各学校が行う学校評価については、教育課程の編成、実施、改善が教育活動や学校運営の中核となることを踏まえ、カリキュラム・マネジメントと関連付けながら実施するよう留意するものとする。」これは、校長が中心となりすべての教職員がその必要性を理解し、校務分掌に基づき適切に役割を分担しつつ、相互に連携しながら学校の特色を生かして取り組むことが大切です。

さらに、児童生徒や地域の実態を捉えながら、地域とともにある学校として何を大切にしていけるかを定め、学校教育目標やめざす資質・能力等を家庭や地域に示し、連携・協働しながら進めていくことが重要です。

四、「各教科等で授業改善と評価」を進めることが求められた

新学習指導要領では、各教科の「内容」において、育成をめざす資質・能力がより明確にされました。各教科等の指導においては、これらの資質・能力の育成をめざし、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいくことが重要です。「主体的・対話的で深い学び」は、「1単位時間」の授業すべてで実現するというものではなく、「単元や題材の大きなまとまり」のなかで実現されるものです。特に、児童生徒が各教科等の特質に応じて「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連づけてより深く理解したり、問題を思いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学習過程を重視することを求められています。また、学習評価においては、児童生徒のよい点や進捗などを積極的に評価し、学習の意義や価値を実感できるようにすることが重要です。

五、「児童生徒一人一人の発達」を支援する指導の充実が求められた

小学校段階からの学級経営や生徒指導、キャリア教育の充実が明確に示されました。また、特別支援学級や通級による指導においては、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、効果的に活用することや、日本語の習得に困難のある児童生徒や不登校の児童生徒への配慮が求められています。

法定研修・経年研修のお礼

本年度も、法定研修・経年研修において、各学校で研究授業・授業研究会を行っていただきました。授業づくり等に関する資料や指導案の作成、授業参観・授業研究会において、校長先生や教頭先生、校内の先生方に御指導・御助言等をいただき、充実した研修になりました。御協力ありがとうございました。

研究所からのお知らせ

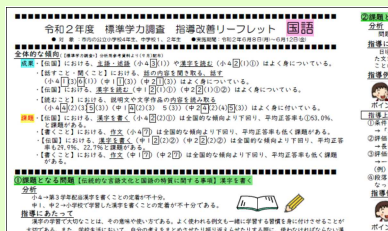
①「標準学力 授業改善リーフレット」(国語科、算数・数学科)

標準学力テストの結果分析を行い那覇市の課題に対応した、授業改善リーフレットを作成しています。国語科、算数・数学科別で示しています。授業改善に、ご活用いただきますようお願いいたします。

②情報関連の資料

- ・情報モラル教育指導計画(例)・プログラミング教育全体計画(例)等資料を紹介しております。

※各資料は研究所Webページよりダウンロードできます。



2・3月の教育研究所事業予定

2/3	(水)	第13回中堅研・閉講式【厚生会館】
10日	(水)	第4回2年目研修【厚生会館】
26日	(金)	次年度事業説明会【厚生会館】
3/11	(木)	初任者研修・閉講式【市庁舎12F】
24日	(水)	初任者研修・時間割説明会【厚生会館】
26日	(金)	第115期成果報告会・修了式【厚】

新刊のお知らせ

書名	著者
授業づくりの設計図 —授業をつくるとはどういうことか?—	澤井陽介
考える&議論するツールでつくる 中学校道徳の新授業プラン	諸富祥彦
SDGsカリキュラムの創造 —ESDから広がる持続可能な未来—	田中治彦
「学校」をつくり直す	苫野一徳
3ステップで学びの土台をつくる 国語授業のこだわり33	牧園浩巨